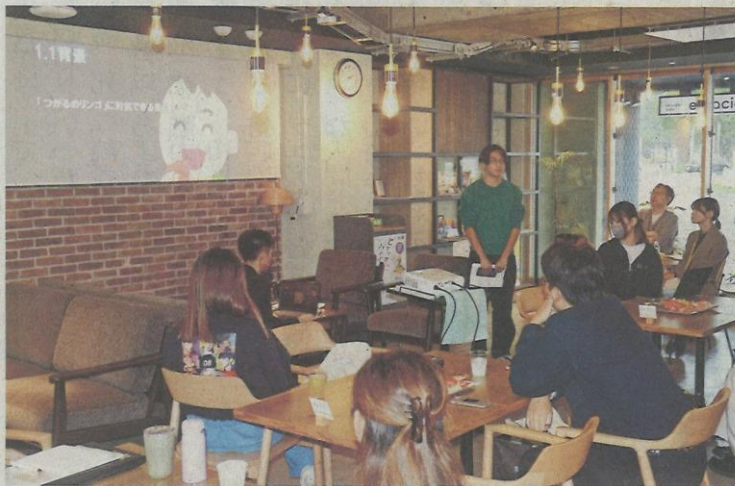


八戸市展開「8サポミーツ」横断交流会

ビジネスプランの経過報告

八戸



ビジネスプランの発表などが行われた
コミュニティー横断交流会

八戸市が展開する起業支援プラットフォーム「8サポミーツ（ミーツ）」は21日、同市の coworking space「エスタシオン」で、コミュニティー横断交流会を開いた。各コミュニティーの活動報告やビジネスプランの発表を通じ、参加者が意識を高めた。

8サポミーツは起業、創業を後押しする交流基盤として、「学生起業チャレンジ」「スモールビジネス」「新ビジネス創出」のコミュニティーを設けている。交流会は本年度の活動の中間報告と、参加者の交流を図るために開催。参加者

は同市産イチゴの販売促進、大学生や高校生の居場所づくり、漢方や薬膳を活用した心と体を整える取り組みといったビジネスプランの途中経過を披露した。

同市産イチゴの販売促進について発表した、八戸学院大地域経営学部3年の石橋諄朗さん（21）は「八戸の食を通じて地域活性化ができないか考えた。10月20日のはちのへほコテで販売するので、売り方を工夫していきたい」と語った。

コーディネーター兼コミュニティーマネージャーを務める野田賀一（よしかず）さんは「磨きがいがあるビジネスプランだった。身近な課題設定でチャレンジしやすいのではないか」と感想を述べた。

（工藤洋平）